

❶ 格子戸を開けると半間分の廊下。そこを歩いて和室へ。❷ 和室はアーチ壁を設けて茶室風のたたずまいに。❸ 昔からあった庭と塀も見事なまでに調和。❹ 高低差を持つカウンター横壁と格子をスライドさせキッチンに躍動感を。❺ 引き戸付きの2階洗面コーナー。❻ 2階廊下から段差をつけて大収納空間を配置。❼ 無垢(むく)の一枚板と障子で和空間を演出。床はウスキーの樽を解体したもの。❽ 屋根まで続く縦格子とタイルがひととき目を引く。



施主の声



親和建設の家を見せてもらったのですが、どれもいい家だったので安心してまかせることができました。玄関脇の窓一つとっても、実際に家の中から見て一番落ち着いた高さになるまで壁を上下左右と何度も移動。妻はとても感動していました(ご主人)。

倉敷市 Tさん宅

年齢 60代

家族構成 夫婦+母

敷地面積 200.15㎡ (60.54坪)

延床面積 169.21㎡ (51.18坪)

1階面積 100.63㎡ (30.44坪)

2階面積 68.59㎡ (20.74坪)

用途地域 第1種住居地域

構造 木造軸組工法2階建て

竣工 平成23年6月

設計・施工 親和建設

〒710-0261

倉敷市船穂町船穂1468-1

TEL.086-552-4585



親和建設

NEW HOUSE REPORT

木と壁の配分を考慮して
縦格子をアクセントに使う

タイトルと縦格子の異なる質感と直線的なラインを巧みに組み合わせさせてインパクトのある外観をつくっているT邸。中に入れば玄関も、さまざまな表情を見せてくれる。プライベート玄関のほか、室内への上がり口を2カ所設けてあり、タイルと敷石でそれぞれに土間の趣を変えている。足元のフィックスから見える外庭もインテリアの一部として取り込み、和の風情を現代的に演出。ご夫妻の要望だった「和風モダンな住まい」を代表する空間になっている。玄関ホール正面奥には和室入り口と同じ縦格子を採用。フロアのアクセントとして、また、格子の向こうに何があるのか来客の想像を駆り立てる狙いもあるそう。格子が際立つよう壁や階段に使う木の配分も工夫されている。和室は7畳半の広さ。中央に長方形の座卓を置くことを前提に、空間のムダを省いている。収納でも空間が有効に使われ、外観に見る突き出た箱壁は1階がバス・トイレ、2階は丸ごと収納庫。大容量を実現すると同時に建物の存在感もアップ。 「建て替える前の庭も上手に取り入れてくれて、設計力の高さに感心しました」とご主人。

デザイン力で
「和」をモダンに造作。
空間も有効に使って
機能的な住まい

◎倉敷市 Tさん宅

立体的な壁面構成と素材の使い分けで、開放的な空間をしっかりとした落ち着いたあたたかみ。

(株)親和建设



☎086-552-4585

☎086-552-3909
〒710-0261
倉敷市船穂町船穂1468-1

<http://www.shinwa-kensetu.co.jp>
E-mail sinwakensetu@mx1.tamatele.ne.jp

- 設立/昭和55年
- 事業内容/総合建設業及び不動産販売、主に木造住宅の新築・増築リフォームの設計施工及び監理
- 対応構造/木造軸組工法など
- アフター保証/㈱日本住宅保証検査機構の「住宅瑕疵(かし)担保責任保険」に加入。
- 価格の目安/要問い合わせ。

ホームページをご覧ください



親和建设 検索

分譲地の情報は



しんわのまち 検索



☑日本建築の伝統の技を存分に生かした「土壁の家」。☑四角いフォルムが印象的。スタイリッシュでモダンな家にも土壁は対応する。☑天井や床、梁(はり)など無垢の木に包まれた室内空間。☑対面式キッチンに小上がりの畳スペースで「和の食卓」を演出。☑水平基調の伸びやかなフォルム。立体的に仕上げた壁が、玄関と飾り柱の木質感を効果的にみせる。

新提案

安心の30年防水保証！
屋上空間を最大限に活用した、「SORA」のある豊かな暮らし

Vintage house

屋上スペースはプライバシーを確保しながら戸外の曇囲気を味わえる、贅沢(ぜいたく)で安全なプライベート空間。家族や友人と食事をしたり愛犬と遊んだり、また土や芝生の敷設も可能なので屋上菜園も楽しめる。

住まいは長期優良住宅を見据えた構造・性能をもち、30年の防水保証が付く。窓は国内最高レベルの断熱性能をもつ樹脂窓。「Low-E 複層ガラス」の標準仕様で冬は暖かく、夏は涼しい快適な空間を実現する。



建物と人を守るため、外壁も重視した高品質な家づくり

純和風住宅からスタイリッシュな洋風スタイルまでどんな住宅にも対応し、伝統の技と最新の技術で独創的な空間を造り上げる親和建設。同社では30余年にわたる家づくりの経験から外壁にも力を注ぎ、建物や住む人を守るにふさわしい建築材として「土壁」と「タイル」を推奨している。

「土壁」は、頑強に組んだ竹を練り土で塗り固める伝統的な建築工法で、吸湿性や断熱性に優れ、室内においては汚染物質の除去や脱臭にも効果を発揮。同社では左官職人を社員雇用しているためダイレクトに作業ができ、工期の短縮、コスト削減を可能にする。「タイル」についても独自の流通ルートをもっており、高級感のある総タイル張りの家が低コストで実現する。タイルは耐久性に定評があり、汚れも付きにくいいためメンテナンスフリー。重厚で存在感のある個性的な外観がつけられるのも魅力だ。

また、同社では注文住宅以外にも、住まいを自分好みにカスタマイズできる選択企画型住宅も用意。木造住宅で屋上庭園付きという、新しいスタイルの住まいも提案している。



「土壁」と「タイル」で魅せる、存在感のある独創的な住まい



A/B 落ち着いた色合いのタイルを外壁全面に使用した「タイルの家」。タイルは汚れが付きにくく、原則として塗り替え不要で、メンテナンス費用を抑えることができる。**C** タイルとタイルをつなぐ目地のないベルパーチ工法は見た目にも美しい。**D** 調湿性や断熱性に優れた土壁は日本の気候風土に適したエコロジー建築。